

高知県感染症発生動向調査（月報）

2017年6月

高知県感染症情報センター
 高知県衛生研究所
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
 E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第22週(5月29日～)から第26週(～7月2日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における6月の上位6疾患の合計は4週間に換算すると58.22で5月の52.03に比べて増加した。増加の原因は夏に流行する手足口病、ヘルパンギーナとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の増加である。1位は感染性胃腸炎で4週換算で26.51(5月1位26.91)と横ばいだった。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で13.48(同2位11.38)と増加した。3位が手足口病で8.75(同5位2.79)、4位が咽頭結膜熱で3.84(同6位2.65)と増加した。5位は流行性角結膜炎で3.30(同4位3.17)と横ばいだった。6位はヘルパンギーナで2.34(同13位0.58)と増加した。

県外で麻疹が流行している。2017年第1～24週に診断された麻疹患者数は163例で、2016年同時期を大きく上回っている。うち、検査診断例が80例で、76例が修飾麻疹である。多い地域は、山形県53例、三重県22例、東京都17例、広島県11例、大阪府10例、注目されるのは香川県の5例で第6位だった。未だ高知県での発生はないが、要注意である。1歳児（Ⅰ期）と就学前の1年間（Ⅱ期）の定期予防接種の徹底がきわめて重要である。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	22週	23週	24週	25週	26週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		6.74	6.58	7.08	6.69	6.05	33.14
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.33	3.45	3.59	3.45	3.03	16.85
3	手 足 口 病		1.34	1.59	2.07	2.41	3.53	10.94
4	咽 頭 結 膜 熱		0.95	0.97	0.97	0.98	0.93	4.80
5	流 行 性 角 結 膜 炎		0.85	0.87	0.84	0.77	0.79	4.12
6	ヘルパンギーナ		0.35	0.43	0.56	0.66	0.93	2.93

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の6月の上位6疾患の合計は4週間換算で64.06と5月の33.18と比べて大幅に増加し、全国よりも多かった(表2)。増加の原因は夏に流行する手足口病、ヘルパンギーナとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の増加である。1位は手足口病で4週換算で32.93(5月7位2.03)と16倍に増加し、全国よりはるかに多かった。2位は感染性胃腸炎で12.26(同1位14.84)と減少し、全国よりも少なかった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.02(同2位7.14)と増加したが全国よりも少なかった。4位はヘルパンギーナで4.69(同14位0.33)と著増し、全国よりも多かった。5位はロタウイルス胃腸炎で3.10(同3位4.01)と減少したが全国よりも多かった。6位は水痘で2.06(同5位2.44)と減少し全国と同等だった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	22週	23週	24週	25週	26週	計
1	手 足 口 病		2.60	4.00	7.73	11.70	15.13	41.16
2	感 染 性 胃 腸 炎		3.57	2.90	3.33	3.33	2.20	15.33
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.77	2.57	2.50	2.17	1.27	11.28
4	ヘルパンギーナ		0.23	0.47	1.03	1.13	3.00	5.86
5	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)		1.00	1.00	0.50	0.75	0.63	3.88
6	水 痘		0.77	0.27	0.53	0.33	0.67	2.57

2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 11名 (5月 122名)。流行の終息を迎えた。全国では前年第34週以降に報告が増加した。本県での流行開始は遅れたが、11月からまとまった報告があり、12月には著増し流行期に入った。12月としては、過去10年間のうちで、パンデミックとして記憶に新しい2009年に次ぐ多い報告数であった。1月は、過去10年間では同時期として5番目の報告数だった。しかし、2月は、同時期として過去10年間で最多の報告となり、都道府県別での最多を記録し、1か月間として、2015年1月、2016年3月、2009年11月に次ぐ報告数であった。3月以降は平年並みの数に落ち着き、6月に終息したが、今季は、流行期間も長いことから大きな流行になった。成人患者が多いことは今季流行のひとつの特徴であった。

6月は中央西、中央東、幡多、高知市から表記の順に多かった。ウイルスは検出されていない。

2) 咽頭結膜熱

報告数 53名 (5月 66名)。この時期としては平年並みの数である。幡多、高知市、中央東、須崎、中央西から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 338名 (5月 214名)。14年10月以降多い報告数が続き、2015年12月以降は2016年3月に至るまで、同時期として過去10年間では最大の流行となった。2016年5月以降にいったん沈静化したが、9月以降には再びゆるやかに増加し100台で推移し、11月-1月は平年並みの数となっていた。2月に再び増加し、3月以降も多い数字で推移している。この時期としては過去10年では2011年に次いで多い報告数だった。安芸を除く地域から報告があり、特に高知市、中央東、幡多からの報告が多い。細菌は検出されていない。

4) 感染性胃腸炎

報告数 460名 (5月 445名)。この時期としてはほぼ例年通りの報告数で、県下全域から報告があり、特に高知市、安芸、中央東、幡多からの報告が多く、高知市では警報値である定点当たり20を超えている。病原体はRotavirus group AG3と*Salmonella Thompson*が各1件検出された。

ロタウイルスは2011年11月に任意ワクチンが導入されて2013年11月からサーベイランス調査が開始された。ロタウイルス胃腸炎は、2016年は3月に増加し、2013年11月以降では最多の患者数(101名)が報告されたが、4月は36名、5月は13名、6月以降は1~3名と減少していた。2017年も3月から全国で流行が始まり、6月は高知市で25名、中央東で4名、幡多で2名、合計31名と5月32名に並ぶ数の報告があった。

5) 水痘

報告数 77名 (5月 73名)。高知市、須崎、中央東、中央西から表記の順に多く報告された。高知市、須崎では注意報値4を超えている。

2014年10月からの水痘ワクチン定期化の効果で、少ない数字で推移していたが、昨年12月は155名と大幅に増加、1月72名、2月30名、3月40名と減少したが、4月57名、5月73名、6月77名と増加した。定期予防接種の恩恵を受けていない5歳以上と乳児が42名(55%)を占めていた。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 1,235名 (5月 61名)。初夏に流行が始まる感染症で、今季は5月からとやや早い流行開始となった。6月は同時期として過去10年間で最多、1か月間の報告数として2010年7月の1,621名に次ぐ2番目の多い報告数だった。定点当たりの報告数が高知県は全国で1位の多い数字であった。高知県全域で警報値5を大きく超え、須崎、高知市、中央西、中央東、幡多、安芸から表記の順で多く報告された。ウイルスはCoxsackie A6が4件検出されており、今季の流行株である。

7) 伝染性紅斑

報告数 13名 (5月 11名)。2015年以降、全国的に例年に比べてやや多い数で推移していたが、6月は同時期として平年並の報告数である。須崎、中央東、高知市、中央西、幡多から表記の順に多く報告された。ウイルスはhuman parvovirus B19が1件検出された。

- 8) 突発性発疹
報告数 65名(5月 59名)。想定内の変動で推移している。
- 9) 百日咳
報告数 1名(5月 1名)。高知市から1名10歳代前半の小児例が報告された。細菌は検出されていない。
- 10) ヘルパンギーナ
報告数 176名(5月 10名)。同時期としては平年並みの報告数だった。例年6-7月から流行がみられるが、今季は5月から流行が開始し、6月は著増した。高知県全域から報告があり、幡多と中央西では警報値6を超え、高知市、高知東では注意報値の2を超えた。今年はまだウイルスは検出されていない。
- 11) 流行性耳下腺炎
報告数 18名(5月 16名)。須崎、幡多、高知市、中央東、中央西から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。
- 12) RSウイルス感染症
報告数 2名(5月 10名)。幡多と高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。
- 13) 流行性角結膜炎
報告数 1名(5月 3名)。ここ3年間は一桁で推移している。
- 14) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)
報告数 1名(5月 0名)。高知市から40歳代が1名報告された。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。
- 15) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)
報告数 1名(5月 0名)。高知市から60歳代が1名報告された。今年、ウイルスは1件も検出されていない。
- 16) マイコプラズマ肺炎(基幹定点の報告疾患)
報告数 7名(5月 8名)。幡多と高知市から報告があった。細菌は検出されていない。
- 基幹定点の月報疾患
- 17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
報告数 15名(5月 20名)。例年並みの数で推移している。
- 18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
報告数 0名(5月 0名)。2017年は3月に1例報告されている。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患(平成29年6月)

類型	病名	報告月						総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	
2	結核	5	7	10	8	5	11	46
4	オウム病						1	1
	つつが虫病	1						1
	レジオネラ症		1					1
	日本紅斑熱				1	1		2
	重症熱性血小板減少症候群						2	2
5	アメーバ赤痢			2	1	1	1	5
	ウイルス性肝炎			1		1		2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1	1	3	5	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1				1	2
	後天性免疫不全症候群		1		1	2	1	5
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1		1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	3	3	3	1	14
	播種性クリプトコックス症			1	1			2
	梅毒	2	1	1	1	4	2	11
	総計	12	13	20	17	21	25	108

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2017年

6月

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ		3	2	4		2	11	122	1	
小児科	咽頭結膜熱		6	30	1	1	15	53	66	48	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		59	210	18	9	42	338	214	247	
	感染性胃腸炎	39	101	224	12	15	69	460	445	471	
	水痘		15	51	2	9		77	73	37	
	手足口病	16	252	636	126	118	87	1,235	61	115	
	伝染性紅斑		5	4	1	2	1	13	11	46	
	突発性発疹		10	38	7	3	7	65	59	69	
	百日咳			1				1	1	15	
	ヘルパンギーナ	2	29	60	20	3	62	176	10	176	
	流行性耳下腺炎		3	8	1	2	4	18	16	141	
	RSウイルス感染症			1			1	2	10	9	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			1				1	3		
STD	性器クラミジア感染症			1				1	1	4	
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ		1					1			
	淋菌感染症								1		
基幹	細菌性髄膜炎			1				1		1	
	無菌性髄膜炎			1				1		9	
	マイコプラズマ肺炎			5			2	7	8	19	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									1	
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)		4	25			2	31	32	1	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	9			3	15	20	11	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
計		58	490	1,308	192	162	297	2,507	1,153	1,421	
前月		58	225	560	65	72	173				
前年同月		51	354	630	155	27	204				
小児科定点数		2	7	11	3	2	5				

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

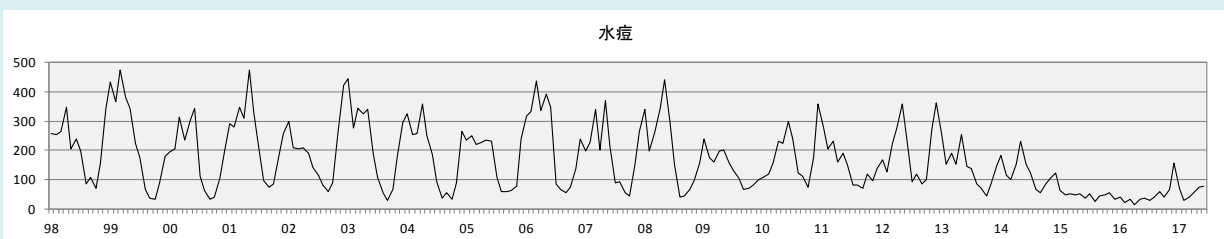
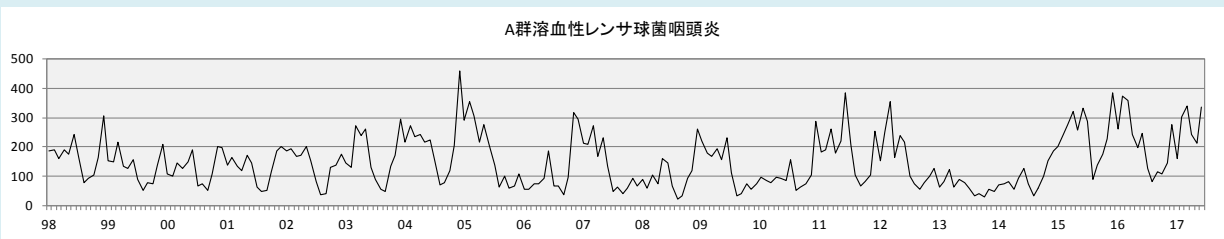
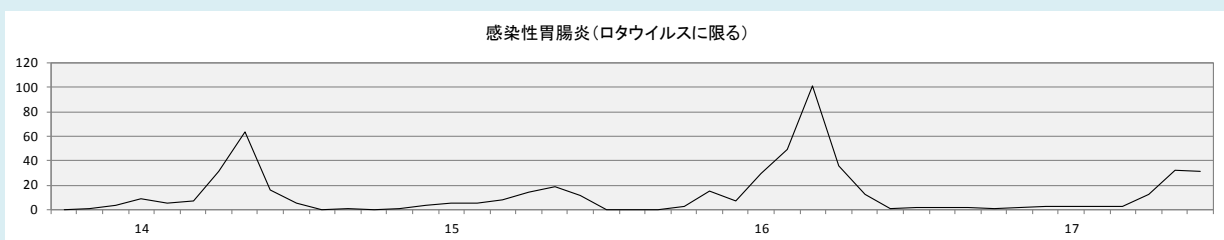
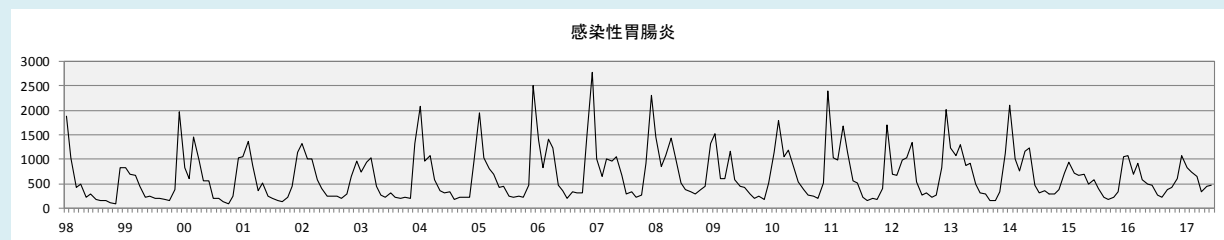
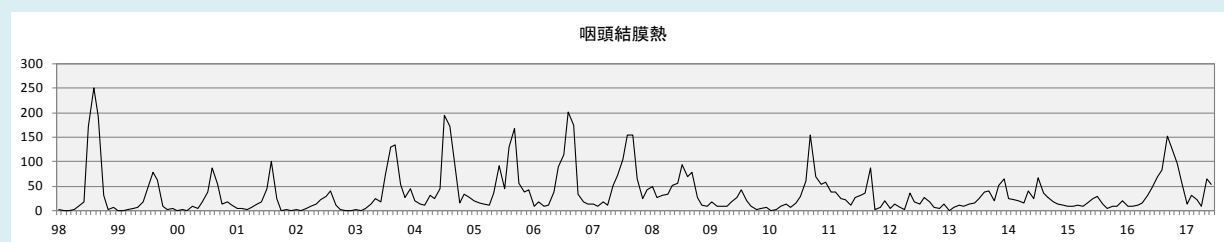
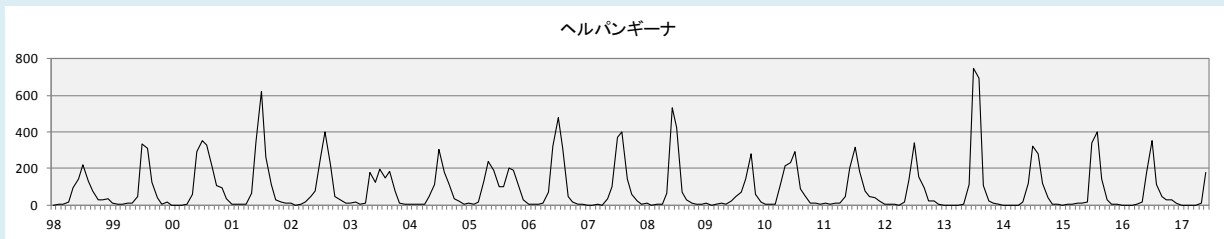
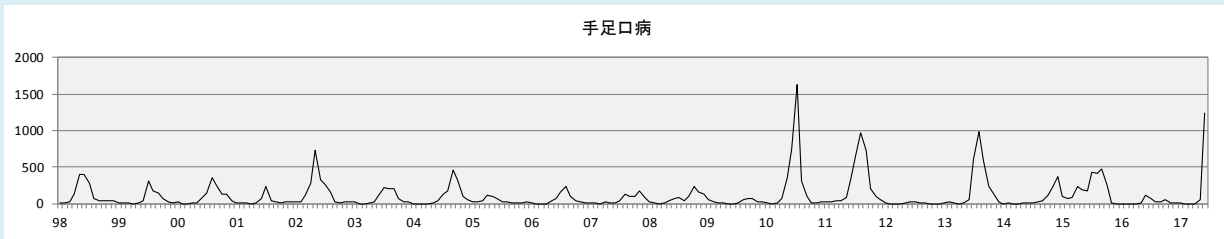
2017年

6月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所								計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
内科・小児科	インフルエンザ		0.27	0.13	0.80		0.26		0.23	2.55	0.02	
小児科	咽頭結膜熱		0.87	2.72	0.33	0.50	3.00		1.77	2.20	1.60	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		8.43	19.09	5.99	4.50	8.40		11.28	7.14	8.23	
	感染性胃腸炎	19.50	14.43	20.36	4.00	7.50	13.80		15.33	14.84	15.71	
	水痘		2.14	4.63	0.66	4.50			2.57	2.44	1.24	
	手足口病	8.00	36.00	57.82	42.00	59.00	17.40		41.16	2.03	3.84	
	伝染性紅斑		0.71	0.36	0.33	1.00	0.20		0.43	0.37	1.55	
	突発性発疹		1.43	3.46	2.33	1.50	1.40		2.18	1.96	2.30	
	百日咳			0.09					0.03	0.03	0.50	
	ヘルパンギーナ	1.00	4.15	5.45	6.66	1.50	12.40		5.86	0.33	5.87	
	流行性耳下腺炎		0.43	0.72	0.33	1.00	0.80		0.59	0.53	4.69	
	RSウイルス感染症			0.09			0.20		0.06	0.34	0.30	
眼科	急性出血性結膜炎											
	流行性角結膜炎			1.00					0.33	0.99		
STD	性器クラミジア感染症			0.50					0.17	0.17	0.67	
	性器ヘルペスウイルス感染症											
	尖圭コンジローマ		0.50						0.17			
	淋菌感染症									0.17		
基幹	細菌性髄膜炎			0.20					0.13		0.13	
	無菌性髄膜炎			0.20					0.13		1.13	
	マイコプラズマ肺炎			1.00			2.00		0.89	1.02	2.39	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.13	
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)		4.00	5.00			2.00		3.88	4.01	0.13	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	2.00	1.80			3.00		1.88	2.50	1.38	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症											
小児科定点分計		28.50	68.86	114.92	63.43	81.00	57.86	81.49	34.76	45.85		
前月		27.75	30.35	45.06	18.58	34.50	30.93					
前年同月		24.50	50.29	54.18	51.68	13.50	39.00					

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

平成 29年6月

検査情報

ウイルス, 細菌の分離状況

6月はウイルス 58件、細菌 5件の搬入があり、そのうちウイルス 8件、細菌1件の病原体を検出し、また、平成29年5月に搬入された検体でウイルス 28件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 1 1件、Adenovirus 2 2件、Coxsackievirus A6 15件、Cytomegalovirus 2件、Echovirus 7 5件、Human herpes virus 6 2件、Human parvovirus B19 1件、Parainfluenza virus 3 3件、Rhinovirus 3件、Rotavirus group A G3 1件、Sapovirus genogroup unknown 1件、また、細菌の内訳は *Salmonella Thompson* 1件であった。

ウイルス, 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	1	女	感染性胃腸炎	38℃,下痢,咳嗽,	ふん便	5/12	Adenovirus 1
2	2	男	-	37℃,発疹,	ぬぐい液	5/13	Coxsackievirus A6
3	1	男	喘息性気管支炎	38℃,咳嗽,	鼻汁	5/14	Rhinovirus
4	2	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	5/15	Coxsackievirus A6
5	11ヶ月	男	手足口病	-	ぬぐい液	5/15	Coxsackievirus A6
6	7ヶ月	男	手足口病	38℃,発疹,	ぬぐい液	5/15	Coxsackievirus A6
7	11ヶ月	女	手足口病?	37℃,下痢,発疹,	ぬぐい液	5/15	Coxsackievirus A6
8	1	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	5/16	Adenovirus 2
9	2	女	手足口病	40℃,	ぬぐい液	5/17	Coxsackievirus A6
10	1	男	消化器感染症	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	5/17	Sapovirus genogroup unknown
11	3	男	不明発疹症	38℃,発疹,	ぬぐい液	5/17	Echovirus 7
12	1	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	5/17	Echovirus 7
13	1	男	咽頭結膜熱	39℃,	ぬぐい液	5/18	Adenovirus 2
14	1	女	手足口病	39℃,	ぬぐい液	5/20	Coxsackievirus A6
15	2	女	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	5/22	Echovirus 7
16	1	女	手足口病?	39℃,発疹,	ぬぐい液	5/22	Echovirus 7
17	2ヶ月	男	上気道炎	38℃,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	5/23	Parainfluenza virus 3
18	1	女	-	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	5/23	Rhinovirus
19	1	女	急性上気道炎	39℃,発疹,	ぬぐい液	5/23	Human herpes virus 6
20	3	女	不明発疹症	38℃,発疹,	ぬぐい液	5/23	Human herpes virus 6
21	1	女	手足口病	-	ぬぐい液	5/23	Echovirus 7
22	1	女	突発性発疹	39℃,下痢,発疹,	ぬぐい液	5/24	Cytomegalovirus
23	1ヶ月	男	急性上気道炎	38℃,上気道炎,	ぬぐい液	5/25	Rhinovirus
24	1	男	呼吸器感染症	40℃,咳嗽,気管支炎,	ぬぐい液	5/26	Coxsackievirus A6
25	1	男	手足口病	37℃,発疹,	ぬぐい液	5/26	Coxsackievirus A6
26	1	女	手足口病	39℃,発疹,	ぬぐい液	5/26	Cytomegalovirus
27	9ヶ月	女	不明熱	40℃,下痢,発疹,	ぬぐい液	5/30	Coxsackievirus A6
28	2	男	手足口病	39℃,手足口病症状,	ぬぐい液	5/30	Coxsackievirus A6
29	11ヶ月	女	手足口病	38℃,発疹,口内炎,	ぬぐい液	5/31	Coxsackievirus A6
30	1	女	手足口病	39℃,発疹,	ぬぐい液	5/31	Coxsackievirus A6
31	14	女	伝染性紅斑	下痢,発疹,	ぬぐい液	6/2	human parvovirus B19
32	2	女	インフルエンザ様疾患	39℃,上気道炎,	ぬぐい液	6/5	Parainfluenza virus 3
33	1	女	手足口病	38℃,発疹,	ぬぐい液	6/5	Coxsackievirus A6
34	3	女	手足口病	39℃,水疱,発疹,口内炎,	ぬぐい液	6/5	Coxsackievirus A6
35	2	女	感染性胃腸炎	39℃,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	6/9	<i>Salmonella Thompson</i>
36	2ヶ月	男	-	気管支炎,	ぬぐい液	6/12	Parainfluenza virus 3
37	5	男	感染性胃腸炎	37℃,嘔吐,嘔気,	ふん便	6/12	Rotavirus group A G3

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2017年						2017年 総計
		1	2	3	4	5	6	
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus agalactiae</i>		1					1
	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>		1					1
	<i>Streptococcus pyogenes Untypable</i>		2				1	3
	計		4				1	5
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	22	19	7	6			54
	Influenza virus A H1pdm09	2	2	1	1			6
	Influenza virus B /Victoria	1	2	1	1			5
	Influenza virus B Yamagata		1		1	1		3
	計	25	24	9	9	1		68
咽頭結膜熱	Adenovirus 1	1						1
	Adenovirus 2			1		1		2
	Adenovirus 3			1				1
	Echovirus 9			1				1
	Human herpes virus 6			1				1
	計	1		4		1		6
感染性胃腸炎	Adenovirus 1					1		1
	Adenovirus 2			2				2
	Adenovirus 41					1		1
	Astrovirus NT		2					2
	Coxsackievirus B1			1				1
	Human herpes virus 6					1		1
	Norovirus GII NT	9	3	3				15
	Rhinovirus	1						1
	Rotavirus group AG3						1	1
	Rotavirus group AG9	2						2
	Rotavirus group A NT				1			1
	Sapovirus genogroup unknown	1		1				2
	<i>Staphylococcus aureus V</i>			1				1
	<i>Salmonella Thompson</i>						1	1
計	13	5	8	1	3	2	32	
手足口病	Adenovirus 2					1		1
	Coxsackievirus A6					8	4	12
	Cytomegalovirus					1		1
	Echovirus 7					2		2
	計					12	4	16
伝染性紅斑	Human herpes virus 7	1	1					2
	human parvovirus B19						1	1
	計	1	1				1	3
百日咳	<i>Bordetella pertussis</i>	2	1	2	1	1		7
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	2	2					4
	計	4	3	2	1	1		11
無菌性髄膜炎	Human herpes virus 6				1			1
	Human herpes virus 7				1			1
	Varicella-zoster virus		1					1
	計		1		2			3
突発性発疹	Cytomegalovirus					1		1
	Human herpes virus 6				1			1
	計				1	1		2
その他	Adenovirus 1	1						1
	Adenovirus 3	1						1
	Coxsackievirus A2	1						1
	Coxsackievirus A6					3		3
	Cytomegalo virus	3			2	1		6
	Echovirus 3			1				1
	Echovirus 7					3		3
	Epstein-Barr virus	1				1		2
	Human herpes virus 6	1			1	2		4
	Human herpes virus 7	2	1	1	1			5
	Human metapneumovirus		1					1
	Norovirus GII NT		1					1
	Parainfluenza virus 3				1	2	2	5
	Respiratory syncytial virus A		1					1
	Respiratory syncytial virus B	1			1			2
	Rhinovirus	1	1	1	1	3		7
	Sapovirus genogroup unknown					1		1
計	12	5	3	7	16	2	45	
総計		56	43	26	21	36	9	191

